

令和8年度 港区政策評価シート

1 政策名・所管部門

政策No	17	政策名	就学前児童ケアサービスを総合的に推進する
所管部	子ども家庭支援部	関係部	教育委員会事務局学校教育部

2 政策のめざす方向性

子育て世帯の多様なニーズに対応するため、一時預かりや、医療的ケアが必要な児童等の保育、病児・病後児保育などの保育サービスを推進します。研究機関等の多様な主体と連携しながら区内保育施設全体の保育の質の向上を図り、区内の保育施設を利用する全ての子どもに対し、安全で安心かつ良質な保育を提供できる環境を整備します。在宅子育て家庭への支援サービスの充実、切れ目のない支援の展開、小学校入学前の教育環境の充実など、就学前児童のケアサービスを総合的に推進します。

SDGsとの関係					
----------	---	---	---	---	---

3 成果指標【政策について満足している区民の割合】

指標の推移		計画目標値	達成度 ※	※評価区分 A：達成（達成度が100%以上） B：相当程度達成（達成度が70%以上100%未満） C：未達成（達成度が70%未満）
現状値	実績			
令和2年度	令和7年度	令和8年度		
30.8%	32.1%	40.8%	C	

これまでの取組と成果	保育定員の適切な管理に取り組み、平成31年4月から令和8年4月まで待機児童ゼロを継続しています。また、在宅子育て中の保護者に対する支援サービスの充実に積極的に取り組みました。
------------	---

課題と今後の方向性 ※未達成の場合は原因分析を含む	保護者の就労形態や子育てへのニーズの多様化が進んでいることから、保護者が必要としている教育・保育を選択できるよう、ニーズの変化を把握し対応していく必要があります。一時預かり事業をはじめとする多様な保育サービスの拡充に取り組み、働き方やライフスタイルにかかわらず、様々なニーズをもつ全ての子育て世帯が希望する保育サービスを受けられる環境の整備をめざします。
------------------------------	---

4 施策の取組状況【施策評価結果】（詳細は別紙「施策評価シート」）

No	施策名	成果指標	施策評価
①	多様なニーズにあわせた保育サービスの拡充	乳幼児一時預かり事業（あっぱい）の利用者満足度	A
②	保育施設における保育の質の向上	指導検査・訪問指導において文書指摘を受けた私立認可保育園等の割合	A
③	子育て支援サービスの充実	子育て支援サービスの満足度	A
④	小学校入学前教育の充実	子ども一人ひとりの個性を生かした教育環境が整っているかという問いに肯定的に回答する区立幼稚園保護者の割合	B

5 予算額・決算額・執行率（単位：千円）			
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算額	25,152,503	28,162,327	29,479,095
流用・補正	1,499,125	1,010,360	-
決算額	25,720,499	27,999,886	-
執行率	96.69%	95.98%	-
6 政策を取り巻く社会経済情勢等			
計画期間中の社会経済状況等の変化 ・社会経済状況、人口動向、財政状況、国や東京都等の動向など	港区の就学前児童人口は、令和2年2月以降減少傾向にあります。		
区民ニーズ等 ・区民意識調査 ・区民から寄せられた意見 など	令和6年3月の港区子ども・若者・子育て支援に関する実態調査では、幼稚園利用者の約6割、保育園利用者の約8割が、そのサービス内容に満足していると回答する一方で、自由意見では、教育・保育内容の質の向上や、教育・保育従事職員の確保・定着の支援を求める意見がありました。また、子育て家庭の約3割は、親族や知人・友人からの助けを得にくく、子育てへの不安や負担を感じやすい状況に置かれています。		
7 所管課による評価【一次評価】			
政策の達成状況	・政策の目指す方向性に掲げる保育施設全体の保育の質の向上について、指導検査及び訪問指導による保育の質の向上に取り組み、安全で安心かつ良質な保育を提供できる環境を整備しました。 ・政策の目指す方向性に掲げる在宅子育て家庭への支援サービスの充実について、多様なニーズにあわせた保育サービスの拡充に取り組み、子育て世帯の多様なニーズに対応できる環境を整備しました。		
達成状況の要因 ・施策の有効性が高かった点 ・施策の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	・施策「保育施設における保育の質の向上」の指導検査において、各保育施設が指摘の改善に取り組むことで、適正な運営及び安全安心な保育の更なる向上につなげることができました。 ・施策「多様なニーズにあわせた保育サービスの拡充」の乳幼児一時預かり事業（あっぱい）について、子育てひろば「あっぱい高輪」を新設するなど、大きな成果を得られました。		
課題と今後の方向性	待機児童は解消した一方で、近年の待機児童対策により急増した保育施設の「保育の質」の向上は重要な課題になってきています。「保育の質」については、子どもが健やかに育つための保育内容、子どもが安全・安心に過ごすことのできる保育環境、保育士がいきいきと働くことができる保育体制など、その内容は多岐にわたり、それら全てについて向上させていくことが必要です。		
8 港区行政評価委員会による評価【二次評価】			
評価	B：政策目的を相当程度達成		
政策の達成度	・成果指標「指導検査・訪問指導において文書指摘を受けた私立認可保育園等の割合」について、対象施設が指導検査に向けた準備を行える仕組みであることに留意が必要です。 ・成果指標「子ども一人ひとりの個性を生かした教育環境が整っているかという問いに肯定的に回答する区立幼稚園保護者の割合」について、幼稚園単位でアンケートを回収する方法は、適正に回答されない可能性があることに留意が必要です。 ・区民満足度が中間実績よりも下がっていることに対する分析が必要ですが、ステークホルダーが限られた政策であり、区民満足度の低下のみで判断することには留意が必要です。 →以上を踏まえ、評価は「B」とします。		
MINATOビジョン策定に向けた今後の政策の方向性 ・重点的に取り組むべき施策 など	・成果指標「指導検査・訪問指導において文書指摘を受けた私立認可保育園等の割合」について、対象施設の実態を正確に把握するとともに、指導検査以外の区職員による巡回について継続的に実施していく必要があります。 ・成果指標「子ども一人ひとりの個性を生かした教育環境が整っているかという問いに肯定的に回答する区立幼稚園保護者の割合」について、適切な計画目標値を設定するほか、アンケート手法について、当事者に直接回答を求める手法に改めるなど、見直しが必要です。 ・医療的ケア児や障害児保育に関する取組について、政策の目指す方向性の実現に向け、成果指標に係る取組として計上する必要があります。		

施策評価シート

政策No	17	政策名	就学前児童ケアサービスを総合的に推進する
施策No	①	施策名	多様なニーズにあわせた保育サービスの拡充
目標・期待する成果	様々なニーズを持つ子育て世帯が望む保育サービスを利用できるよう、一時預かり事業をはじめとする多様な保育サービスの拡充に取り組み、働き方やライフスタイルにかかわらず、全ての子育て世帯が、希望する保育支援を受けられる環境をめざします。		
SDGsの ゴールとの 関係	   		
施策担当課	子ども家庭支援センター、子ども政策課	関係課	保育課

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和８年度は見込み）			
		令和２年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	
乳幼児一時預かり事業（あっぱい）の利用者満足度		-	-	90.0%	82.4%	86.0%	75%
	達成度	当該年度の実績と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和６年度	a	区内８施設で乳幼児一時預かり事業を実施し、前年度を上回る延べ37,286人の利用がありました。LINEを用いたオンライン予約を実施しており、利用者が予約しやすい環境を整備しています。			引き続き、利用者の声を踏まえ、多様な区民ニーズを踏まえた保育サービスの充実に努めます。		
令和７年度	a	令和７年７月から子育てひろば「あっぱい高輪」を新設し、一時預かり機能を含む子育て支援拠点の拡充を図りました。			事業の安定的な運営や人材確保の観点も踏まえながら、多様な区民ニーズに対応した保育サービスの充実に向けた取組を進めます。		
令和８年度	a	令和８年４月から乳幼児一時預かり施設の「あっぱい台場分館」を新設し、区内における一時預かり体制の充実を図りました。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	達成度	当該年度を取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和6年度							
令和7年度							
令和8年度							

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）

c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

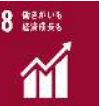
評価	A：計画目標を達成できる
施策の達成状況	計画に基づき、乳幼児一時預かり事業及び子育て支援拠点の拡充に取り組み、概ね計画どおりに事業を実施しました。 あっぱい高輪及びあっぱい台場分館の新設により、地域における保育サービスの提供体制が強化され、区民の多様な生活状況に応じた利用環境の整備が進みました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	新設施設について、事前に利用ニーズや地域特性を踏まえた検討を行い、関係部署及び事業者との連携の上、計画的に開設準備を進めたことが、取組の着実な実施につながりました。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	就労形態や生活スタイルの多様化により、保育ニーズが多様化・細分化しており、柔軟な保育サービスの拡充が求められています。 今後は、各保育サービスの役割を整理し、多層的で分かりやすい保育サービス体系を構築するとともに、人材育成や運用改善を通じて、質と利便性を両立した保育環境の整備を進めていきます。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）

B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）

C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）

施策評価シート

政策No	17	政策名	就学前児童ケアサービスを総合的に推進する
施策No	②	施策名	保育施設における保育の質の向上
目標・期待する成果	子どもの健やかな成長のためには、保育内容の充実をはじめとする保育の質の向上が不可欠です。多様な主体と連携した保育内容の向上や質の高い保育環境の整備、保育体制への支援に取り組み、区内の保育施設を利用する全ての子どもに対し、安全で安心かつ良質な保育を提供できる環境をめざします。		
SDGsの ゴールとの 関係	    		
施策担当課	子ども政策課		関係課 保育課、教育人事企画課

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和８年度は見込み）			
		令和２年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	
指導検査・訪問指導において文書指摘を受けた私立認可保育園等の割合		26%	22.0%	20.0%	21.3%	23.0%	38%
	達成度	当該年度を取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和６年度	a	運営・保育・会計各分野の検査を実施しました。集団指導において前年度に多かった指摘事項並びに今年度の重点事項について指導したうえで、指導検査を実施しました。			重点項目の整理、事前提出書類の整理及び提出の徹底等が課題となります。また、指摘の多かった事項等を集団指導で共有し、改善と各施設の適正な運営に向けて助言と指導を継続的に行います。		
令和７年度	a	運営・保育・会計各分野の指導検査を実施しました。検査実施するにあたり、前年度に多かった指摘事項や園運営で注意すべき内容を集団指導及び園長会にて周知、指導を行いました。			利用や設置が増加している認可外保育施設に対する指導の徹底が課題となります。安心・安全な保育運営のため、指導検査だけでなく、巡回訪問を含めた継続的な支援を行います。		
令和８年度	a	新たに区内認証保育所及び新規施設に対する指導検査を実施します。遵守すべき事項、事故防止など危機管理の視点を重点的に指導を行います。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	達成度	当該年度を取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和6年度							
令和7年度							
令和8年度							

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）

c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	A：計画目標を達成できる
施策の達成状況	指導検査における文書指摘に対し、各保育施設が指摘の改善に取り組むことで、適正な運営及び安全安心な保育の更なる向上につなげることができました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	指導検査実施前の集団指導における具体的な事例を使用した指導、また指導検査当日の現場指導の内容は、各施設における日常の自己点検に役立っています。自己点検が適正に実施され、保育の質向上につながるよう、指導検査における確認と指摘は今後も必要となります。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	安全安心で良質な保育は、子どもの健やかな成長に必要不可欠であるため、保育施設や保育従事者に対する指導について、指導検査だけではなく巡回訪問等を活用し、引き続き保育の質の向上を目指します。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）

B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）

C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）

施策評価シート

政策No	17	政策名	就学前児童ケアサービスを総合的に推進する
施策No	③	施策名	子育て支援サービスの充実
目標・期待する成果	孤立した育児に陥りやすい在宅子育て家庭や、子育ての負担が大きい多子世帯、多胎児を育てる家庭に対する支援を推進するとともに、地域資源を活用しながら「切れ目のない支援」を展開することで、子育て世帯が希望する数の子どもを安心して生み育てることができる環境をめざします。		
SDGsのゴールとの関係	   		
施策担当課	子ども家庭支援センター	関係課	子ども政策課、保育課、健康推進課

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
子育て支援サービスの満足度		75%	85.0%	85.9%	86.3%	86.1%	85%
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和6年度	a	子育て家庭の負担軽減を図るため、産前産後家事・育児支援事業（産後ドゥーラ）の利用対象期間等を拡充するとともに、保護者のリフレッシュや子ども同士のふれあいの機会をつくるため、みなとこども誰でも通園事業（2か所）を試行実施しました。			令和7年度は、区民に寄り添った伴走型の支援を展開するとともに、産前産後家事・育児支援事業やベビーシッター利用支援事業をさらに充実させ、多胎児や障害児のいる家庭やひとり親家庭など特に支援の必要がある家庭の子育て負担の軽減を図ります。		
令和7年度	a	伴走型支援の充実により、子育てに関する不安の軽減を図りました。産前産後家事・育児支援事業及びベビーシッター利用支援事業では利用者が増加するとともに、多胎児や障害児のいる家庭、ひとり親家庭に対しては支援を強化することで、負担軽減や孤立防止に寄与しました。			子どもの成長に応じた切れ目のない支援を強化するため、令和8年度は、家事支援事業の利用対象を小学校1年生まで拡大するとともに、親子関係形成支援プログラムの開催会場や参加枠を拡充します。あわせて、出産・子育て応援メールの対象を18歳まで広げ、継続的な子育て支援を推進します。		
令和8年度	a	家事支援事業の対象拡大や親子関係形成支援プログラムの拡充を行うとともに、出産・子育て応援メールの配信対象を18歳まで広げ、切れ目のない子育て支援を推進します。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	達成度	当該年度を取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和6年度							
令和7年度							
令和8年度							

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）

c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	A：計画目標を達成できる
施策の達成状況	産前・産後家事支援事業やベビーシッター事業の周知や利用促進に積極的に取り組み、目標に掲げる子育て世帯が安心して生み育てることができる環境の構築を行いました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	児童相談所、保健所等と連携し、支援が必要な世帯に対してサービスの情報提供を行い利用につなげることで、大きな成果を上げることができました。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	子どもの成長に応じた切れ目のない支援が課題となっており、求められるサービスを検討・拡充していくことや、さらなる関係機関との連携を強化してまいります。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）

B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）

C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）

施策評価シート

政策No	17	政策名	就学前児童ケアサービスを総合的に推進する
施策No	④	施策名	小学校入学前教育の充実
目標・期待する成果	幼稚園は、集団生活をととして、家庭では体験できない社会・文化・自然などに触れ、幼児期の心身の発達に必要な経験をする場です。幼児期の育ちと学びが、小学校以降の自ら学び、考え、行動する「徳」「知」「体」の学びにつながるよう、小学校入学前教育の充実を図ります。		
SDGsのゴールとの関係	   		
施策担当課	学務課	関係課	教育長室、教育人事企画課

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
子ども一人ひとりの個性を生かした教育環境が整っているかという問いに肯定的に回答する区立幼稚園保護者の割合		-	96.3%	97.8%	98.0%	99.0%	100.0%
	達成度	当該年度の実績と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和6年度	a	空き定員の増加等を踏まえ、区立幼稚園の募集定員を削減する一方、区立幼稚園の利便性や魅力の向上、情報発信強化に取り組みました。 区立幼稚園の運営に対しては、引き続き、保護者から高い評価を得ることができています。			在園者数の減少が続いていることから、引き続き需要に応じた受入れ体制及び幼稚園の魅力向上策等について、公私立幼稚園が連携して検討していきます。		
令和7年度	b	区立幼稚園1園で、試行的に預かり保育の時間を拡大するとともに、春季休業中の一時預かり事業を開始しました。 また、家庭で大切にしたいことハンドブック等を改定し配布するなど、家庭の教育力向上に取り組みました。			引き続き幼稚園園児数の減少が続いていることから、ニーズを捉えた更なる魅力や利便性の向上に取り組むとともに、研修等を通じて、教員・保育士の指導力向上を図ります。		
令和8年度	b	区立赤羽幼稚園で新たに3歳児保育を開始するとともに、区立幼稚園の預かり保育の時間拡大等を実施します。 また、公私立幼稚園の昼食費等の負担軽減に取り組めます。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	達成度	当該年度を取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和6年度							
令和7年度							
令和8年度							

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）

c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	B：計画目標を相当程度達成できる
施策の達成状況	・施策の評価は、アンケート結果等からも、区立幼稚園運営に対して、保護者から概ね高い評価をいただいているためBとしました。 ・一方で、幼稚園園児数は公私立幼稚園共に減少傾向が続いています。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	・成果指標について、研修等を通じた教員・保育士の指導力向上や、保幼小連携等、小学校入学前教育の充実に向けた取り組みにより、保護者から一定の評価を得られました。 ・共働き世帯の増加等に伴い、保育園等に通う方の割合が増えていることに加え、幼児人口の減少も重なり、幼稚園園児数が減少しています。
MINATOビジョン 策定に向けた課題と 今後の方向性	・引き続き、研修の充実や保幼小連携の強化により、教育の質の向上に取り組めます。 ・園児数の減少を食い止め、より多くの方に幼稚園を利用していただけよう、保護者ニーズを捉えた幼稚園の魅力や利便性の向上と、その周知の強化策を検討します。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）

B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）

C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）